

ちびっこ チャンピオン

「きょうりゅう だいすき！」

めぐみ子ども園のなかよしたち

(左から)

- おおかわ けんしょうくん (5さい)
- あさり ゆ あさん (5さい)
- やまざき ゆずきくん (6さい)
- くどう そうしくん (5さい)

このコーナーでは、元気いっぱい
な園児達の作品をご紹介します。



深浦町の花



福寿草

深浦町の木



樺

深浦町の鳥



カモメ



このコーナーでは誕生日を迎えたチビッコ達をご紹介します



黄金崎心望 (こたみ)
H30年/7/25生
「こっこもお喋りで元気がいいお姉ちゃん、大好きだよ!!」
(父)



堺美夏 (みなつ)
(岩崎上)
R元/7/23生
「つばきお姉ちゃん、すてきな成長ですね!!」
弟・仲良くん



山崎陽菜 (ひまり)
(北金一区)
R2/7/30生
「元気が一番!生まれてきてくれてありがとう!!」



福澤慶大 (けいた)
R3/7/1生
「1歳おめでとう!すくすく大きくなあれ!!」



黄金崎緒望 (つぐみ)
(広尾)
R3/7/17生
「甘えん坊の可愛い弟、1歳おめでとう!!」

草創教育長の「今月の一枚」

透明人間から不良老人へ

透明人間になりたい。スケッチする人は、たいていそう思うようです。気配を消し人目を忍んで絵に集中したい。大して上手くもないけれど、現実に逃避している、という後ろめたさもあります。私は、人が多い所でかく時は、「近寄ってくるなオーラ」を全身から放つことにしています。意外と効果があります。オーラを無視して接触してくるのは、私の場合、なぜかアマチュアの写真家さんたちです。今まで四、五回ありました。絵は三年前に描いた、瀬戸内海を代表する景勝地の一つ、輛(とも)の浦です。江戸時代から栄えた北前船の寄港地。そして坂本龍馬ゆかりの地。この輛の浦のシンボルが奥に見える常夜灯です。人もまばらな早朝をねらい、鉛筆を走らせて気分ものつてきた頃、オーラを破って話しかけてきたのは二十代の若者。その自慢アピールがすごかった!



カメラやレンズの自慢から始まって、昨夜撮影した天の川の写真自慢、過去の受賞歴自慢、高慢な写真芸術論。小一時間も私の手を止め、あげくの果て「常夜灯が入った景色はベタ過ぎるよね」と。私の下描きにケチつけやがった。この若僧、てめえ何様だ、早く去れ!と叫びたくなる気持ちにグッと抑えました(追い払えない私も悪い...)。今、冷静に振り返ってみると、遠慮なく趣味を語り堂々とその技を誇る、あの若者の熱さがうらやましく思えてきます。吉田兼好の「徒然草第一五〇段」に、芸能の心得が書かれています。簡単に紹介します。下手なうちはこっそり秘密で練習して、上手になってから披露するのがかっこいいと考える人は、最終的にもにならない。早くから上級者に交じって、笑われバカにされた方がよほど上達するものだ。なるほど。コソコソ人目を気にしても上達しないのです。正々堂々趣味や技を披露し、おちよくられいじられていく中で、腕前も少しは上がるのかも知れません。元気に自立して過ごせる期間を「健康寿命」と言うそうです。計算したら、私にはあと十年しかありません。生涯学習の時代です。透明人間はやめ、趣味に生きる不良老人をめざすことにします。(教育長 草創 文人)